

かお・人・interview

2021年4月1日

所長

インタビュー



国土交通省 九州地方整備局
福岡国道事務所 所長

福本仁志氏

hitoshi FUKUMOTO

福岡国道事務所は、福岡地域及び筑後地域における安全かつ円滑な道路交通の確保を目的に、道路の新設・改築、無電柱化、交通安全施設等整備および維持管理等の事業を行っている。今なお残る慢性的な交通渋滞、狭い歩行空間などに対する安全で快適なインフラ整備は終わりが無い。また、春吉橋の架け替え事業では、迂回路橋を永久橋として建設し、「福岡の顔」となる賑わい空間として利用する計画だ。今後取り組む整備事業や課題などについて福本所長に話を伺う。

Q 所長就任にあたっての抱負

福岡は自分の出身地(宗像市出身で福岡市内の高校に通っていた)であり、また、10数年ほど前に九州地方整備局本局に勤務していたこともあります。再び地元に戻ることがあるとは考えていませんでしたが、ふるさととしての福岡の道づくり、地域づくりに携わることが大変光栄に思います。



▲写真提供：福岡市

全国的に人口減少が進む中、今なお人口増加を続けている福岡市(※)とそれを中心とした福岡都市圏は、まだまだ成長途中と言えます。中国や韓国とも距離的に近く、これまでもアジアのゲートウェイとしての地の利を活かして、インバウンド需要などをうまく取り込んできて、国内でも「元気な都市」の印象が強い。九州一の大都市、福岡市を中心としたエリアの主要な国道を管轄する福岡国道事務所長に就任して身の引き締まる思いでもあります。

※2015-2020の人口増加数ランキングで、上位は東京都区部や関東の主要都市が並ぶ中、福岡市東区(12位)、福岡市博多区(15位)が食い込んでいる。

これまででは、道路系の部署よりも都市系での職務経験が長いこともあり、都市計画やまちづくりの視点で道路のあり方を考えることが多いです。福岡地域の核となる福岡都市圏、久留米都市圏の将来像を見据え、まちづくりとの連携を図りながら、より効果的な直轄国道の整備や活用方法などを考えていきたいと思っています。



福岡都市圏は、九州の中で「一人勝ち」状態と言えます。しかし、その現状に甘んじてはならず、さらに魅力ある街とするためにも、次を見据えた投資が必要です。インフラ整備もその一つであり、福岡都市圏は成長しているが故に、交通渋滞の激化という問題も依然として深刻なままです。人口密集地域でのインフラ整備はどうしても時間も費用がかかります。だからこそ、10年、20年、30年先を見据えて、あるべきインフラの姿というのを、経済界や市民の声も聴きながら、福岡県、福岡市、国土交通省がしっかりと議論していくことが必要だと考えています。

Q九州や福岡県とのかかわり



▲写真提供：宮崎市

勤務地としては、地元でもある九州は長く、宮崎に約3年半、鹿児島に2年と少し、福岡にも一度3年間ほど居たことがあります。今回で九州勤務は4回目です。

思い出深い仕事のひとつに、宮崎市のバスセンター

福岡都市圏は成長しているが故に交通渋滞の激化という問題も依然として深刻なままです。10年、20年、30年、次を見据えた投資が必要です。

があります。宮崎駅西口で駐車場として利用していた市有地と県有地を、中心市街地にふさわしいバスセンター機能を含む、拠点施設を官民連携(PPP)で整備することを提唱したことです。

都市再生モデル調査なども活用しながら需要調査を行いつつ、宮崎県、宮崎交通、JR九州、宮崎商工会議所、地元金融機関なども巻き込んで検討委員会を発足、プロジェクト立ち上げのきっかけを作りました。その後、宮崎市や商工会議所の努力の甲斐あって、最終的には平成24年に「KITEN」として開業しています。

陸の玄関口である宮崎駅の交通結節機能や中心市街地の魅力向上に、寄与できたのではないかと思います。

Q当事務所の紹介

福岡国道事務所の管理総延長は292.8km。管内には国道3号、国道201号、国道202号、国道208号、国道209号、国道210号を管理。福岡都市圏と久留米都市圏という九州の中でも重要な縦の軸の要の部分の擁護しています。

九州の大動脈であり、最大で約6万台/12hの交通量がある国道3号、福岡市の中心部を貫く国体道路。都市高速道路と一体で整備された、外環状道路の国道202号などが特徴です。福岡市東区名島の事務所の他に、福岡、福岡西、久留米の3つの維持出張所があります。

Q令和3年度の事業概要

博多バイパスが3年前に完成し、大きな事業が一段落したこと、有明海沿岸道路の事業が2年前に新たに



写真：福岡国道事務所



国道3号の渋滞▶



▲今宿道路の整備



◀八木山バイパス

設置された有明海沿岸国道事務所の管轄になったことから、福岡国道としての事業費はピーク時(平成14、15頃で年間約450億円)の1/3～1/4になっています。

現在手がけているのは、高規格幹線道路やバイパスなどの建設事業。

- 国道497号西九州自動車道「今宿道路」の整備：福岡市から糸島市を經由して唐津、伊万里、佐世保へとつながる高規格幹線道路の一部を構成する道路で、九州北西部の地域経済の活性化や定時性の確保に大きく寄与。
 - 国道201号「八木山バイパス」4車線化：福岡都市圏と筑豊地域を結ぶ幹線道路
 - 国道3号「鳥栖久留米道路」の整備：久留米都市圏の環状道路を構成する道路
- そのほかにも注目度の高い事業としては、
- 国道202号「春吉橋」架け替え事業：中洲に架かる春吉橋の架け替えにあわせ、迂回路橋を活用した賑わい空間の創出を図るものなどです。

Q地域との連携・協働について

九州には「道守」という道路愛護団体のような組織

が各地にあります。それぞれの地域での道路での花植や清掃などを通じて地域コミュニティの形成や地域づくり、教育活動などを実践されています。また、道の駅や日本風景街道など、道を舞台とした様々な地域振興の活動も展開されています。これらの活動を通じて、我々も地域との関わりや地域づくりへ、どのような支援と連携ができるのかを考えて行きたいと思います。

昨年の道路法改正で、道路空間に歩行者が「滞留」することを目的として、道路そのものが賑わい空間となることを認める「歩行者利便増進道路」の制度が創設されました。これは、これまで唯一の目的とも言える「円滑で安全な通行空間」であった道路上を、新たな利活用空間として認める、とても画期的な制度です。春吉橋の掛け替え事業では、迂回路橋をそのまま残し、賑わいの空間として整備することが福岡市との協議により決まっています。具体的な利活用計画や運営主体はこ



中洲

那珂川

至天神

春吉橋

至博多

う回路橋

△春吉橋



▲国道3号 名島橋の清掃活動

▼道路・植栽の清掃



▲災害復旧工事

れから決めることになってきますが、新たな制度を使ってこれまでにない新たな道路空間を作って行けたらと考えています。

収益活動イメージ



オープンカフェ



公告マネージメント



レンタサイクル

公益活動イメージ



道路空間の修景



除草・植栽活動



不法占用調査

Q 地域建設業への要望・メッセージ

近年、気候変動の影響が集中豪雨や台風などの風水害が激甚化・頻発化しています。福岡西方沖地震や熊本地震など、地震が起きにくいと思われている地域でも想定外の出来事が起こりました。今は、地震がどんな形で起きてても不思議ではありません。建設業は、いざというときに真っ先に被災地に駆け付け、復旧作業に着手し「地域を守る」という重要な役割。災害時における地域の安全保障としての役割を担っています。そういう自負と誇りを持ってこれからも各地域で是非事業を続けてほしいと思います。

インフラの整備保全には、建設業は大事なパートナーであり、今後も信頼関係を築きながら一緒に仕事をしていきたいと考えています。近年の人手不足や技能者の高齢化と後継者不足など建設業をとりまく環境は厳しさを増していますが、建設業のイメージアップや建設業従事者の待遇の向上を発注者としての立場から支援、推進していきたいと考えています。

Q 趣味や健康法、座右の銘について

今はコロナ渦ですべて自粛していますが、休日の過ごし方はいろいろあります。運動面で言えば、全身運動ができる水泳。リフレッシュするのはもとより、疲れにくい身体になりました。趣味と実益を兼ねて、ドライブも楽しめます。一般道路を使い、のんびりと温泉巡りも好んでいます。他に、音楽鑑賞と演奏も気分転換に挙げられます。クラシックが好きで、楽器演奏歴(ホルン)は30年以上。最近はオーケストラで演奏する機会がなく残念です。単身赴任も5年以上になり、料理も得意になりました。健康面も考えて外食はほとんどしません。自炊を心がけており、周囲には驚かれますが、昼食(弁当)も自作です。

座右の銘は、後藤新平の「金を残して死ぬのは下だ。事業を残して死ぬのは中だ。人を残して死ぬのが上だ。」です。天然資源の乏しい日本では、まさに「人」が国の財産になると思います。困難な壁に当たったとき、この言葉を思い出し指針としています。

プロフィール



出身地：福岡県
生年月日：昭和46年6月19日(49歳)
H8年 建設省入省 関東地方建設局 相武国道工事事務所
H12年 都市局 都市計画課 都市交通調査室 都市交通係長
H14年 宮崎市 都市整備部長
H19年 九州地方整備局 都市住宅整備課長
H21年 都市局 都市計画課 都市計画調査室課長補佐
H23年 道路局 路政課 課長補佐
H25年 九州地方整備局 鹿児島国道事務所長
H27年 四万十市副市長
H29年 道路局 国道・防災課 道路防災対策室企画専門官
R2年 現職